



オランダ王国

Kingdom of the Netherlands

2007年11月現在



一般事情

- 1.人口 1,636万人(2007年1月、出典:オランダ中央統計局)
- 2.面積 41,864平方キロメートル(九州とほぼ同じ面積)
- 3.首都 アムステルダム
- 4.言語 オランダ語
- 5.宗教 キリスト教(カトリック32%、プロテスタント22%)
- 7.通貨 ユーロ 為替レート1ユーロ=約163円(2007年8月現在)
補助通貨単位 100セント = CENT/S
- 8.査証(ビザ) 査証取極(1956年)、
- 9.在留邦人数 7,150人(2006年10月、外務省統計)
- 10.在日当該国人数 1,039人(2002年12月、法務省統計)
- 11.電源 230 V 50 Hz
- 12.国際電話 国番号 31 国際通話コード 0
- 13.シガレット 小売価格 2.59 US\$ (20本当り)
税率 73.0%
製造数量 123,582 (百万本/年)
シガレットメーカー 本資料の最後に掲載

コンセント・タイプ



14.略史

年月	略史
1568年	対スペイン独立戦争
1648年	オランダ連邦共和国独立
1810年	フランスによる併合
1815年	オランダ王国独立
1839年	ベルギーの独立を承認
1867年	ルクセンブルクの独立
1940年	ドイツによる占領
1945年	オランダの解放
1950年	インドネシアの独立
1975年	スリナムの独立

15.在外大使館・領事館

在オランダ日本国大使館
Embassy of Japan in the Netherlands
Tobias Asserlaan 2, 2517KC, Den Haag, The Netherlands
電話 +31-(0)70-3469544(代表)
FAX +31-(0)70-3106341(代表)
+31-(0)70-3107099(領事部)
+31-(0)70-3560714(広報文化センター)

16.駐日大使館・領事館

オランダ王国大使館
Royal Netherlands Embassy in Japan
〒105-0011 港区芝公園3丁目6-3
電話:03-5776-5400

在大阪・神戸オランダ総領事館
Royal Netherlands Consulate-General in Osaka・Kobe
〒540-6133 大阪市中央区城見2丁目1-61 Twin21 MIDタワー33階
電話:06-6944-7272
管轄区域:中部(山梨、新潟、長野、静岡を除く)、近畿、中国、四国、九州、沖縄

在名古屋オランダ名誉領事館
Royal Netherlands Honorary Consulate in Nagoya
〒460-8666 名古屋市中区栄2丁目4-18 岡谷鋼機株式会社 内
電話:052-204-8100
管轄区域:愛知

在長崎オランダ名誉領事館
Royal Netherlands Honorary Consulate in Nagasaki
〒852-8521 長崎市文教町1-14 国立大学法人長崎大学内
電話:095-819-2017
管轄区域:長崎、福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島

政治体制・内政

- 1.政体 立憲君主制
- 2.元首 ベアトリックス女王
- 3.議会 二院制(第2院(下院)150名、第1院(上院)75名)

政党名		下院	上院
与党	キリスト教民主同盟	41	23
	労働自由民主国民党	33	19
	キリスト教民主連合	6	2
野党	社会党	25	4
	自由民主国民党	22	15
	自由党	9	-
	緑の党	7	5
	民主66党	3	3
	カルビン党	2	2
	その他	2	2

- 4.政府 (1)首相 ヤン・ペーター・バルケネンデ(キリスト教民主同盟)
- (2)外相 マキシム・ジャック・マルセル・フェルハーヘン(キリスト教民主同盟)
- 5.内政 2006年6月30日の内閣総辞職を受け、同年11月22日に下院総選挙を実施。
これを受け、連立交渉が行われた結果、キリスト教民主同盟、労働自由民主国民党、キリスト教連合の連立内閣(第4次バルケネンデ内閣)が2007年2月22日に発足した。
留任は首相、法相のみで、ほとんどの閣僚が新人。

外交・国防

- 1.外交基本方針
 - (1)欧州及び米国との緊密な関係維持、国連等の多国間における外交関係、EU共通外交安保政策及びNATO体制の下での安全保障の推進を重視。
EC原加盟国として欧州統合・拡大を積極的に推進。
平和維持活動、軍備管理等で積極的な貢献を行っている。
2004年7月から12月までEU議長国。
 - (2)開発途上国援助にも積極的で、ODAは対GNP比0.8%(対GNP比では、第1位デンマーク、第2位ノルウェーに次ぎ世界第3位)。
金額ベースでは、世界第6位の援助国(我が国は第2位)。
環境、女性と開発、都市貧困の撲滅等を重視。地域面ではアフリカ重視。ODAの約1割はNGOを通じて実施。
 - (3)2003年7月から2005年4月まで、ムサンナー県を含むイラク南東部を管轄する英国軍指揮下の多国籍師団の下で、約1350名の安定化部隊が展開し、治安維持、人道支援、復興支援等を実施。
- 2.国防予算等
 - (1)予算 約77億ユーロ(2004年度予算)
 - (2)兵役 1997年以降、徴兵制を停止し、志願制となる。
 - (3)兵力 総兵力 約51,000人(ただし、予備役は含まない)
(陸軍 約22,000、海軍 約11,000、空軍 約11,000、軍事警察 約6,000人)

経済

- 1.主要産業 石油精製、化学、電気、食品加工、天然ガス
- 2.GDP(2005年) 5,948億ドル(世界銀行)
- 3.一人当たりGNI(2004年) 31,700ドル(世界銀行)
- 4.経済成長率(%) (GDPベース)

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
経済成長率(%)	1.4	0.6	-0.9	1.4	1.7

(2004年欧州委統計)

- 5.物価上昇率(%)

	2003年	2004年	2005年
物価上昇率(%)	2.1	1.2	0.7

(オランダ中央統計局) (2005年分は2004年欧州委統計予測値。)

- 6.失業率(%)

	2003年	2004年	2005年
失業率(%)	5.3	6.4	5

(オランダ中央統計局) (2005年分は2004年欧州委統計予測値。)

- 7.総貿易額(2006年) 6,028億ユーロ(オランダ中央統計局)

輸出:3,180億ユーロ
輸入:2,848億ユーロ

- 8.主要貿易品目(2002年)

- (1)輸出 機械・輸送機器、化学品、鉱産物(天然ガス)
- (2)輸入 機械・輸送機器、鉱産物(原油)、化学品

- 9.主要貿易相手国(2002年)

- (1)輸出 独、ベルギー・ルクセンブルク、英、仏
- (2)輸入 独、ベルギー・ルクセンブルク、米、英

- 10.通貨

ユーロ

- 11.経済概況 1996～2000年は個人消費の拡大と輸出増加に支えられ3%台の成長を維持したが、2001年に入り、世界経済の影響を受けてオランダ経済も減速し、2002年の経済成長率は前年比で0.6%と低成長を記録、2003年は1982年以來のマイナス成長となったものの、2004年は輸出増を背景に緩やかな経済回復が見られた。
2003年に3%を超過した財政赤字対GDP比は、2004年には2.5%となり、また、失業率は上昇傾向にあるが、6%台の水準である。

二国間関係

1.政治関係

400年に及ぶ歴史的伝統的友好関係を維持。
両国の皇室・王室関係は極めて親密。
一部の戦争犠牲者による賠償請求問題を除き特に懸案はなし。

2.経済関係

(1)日蘭貿易(単位:億円、出典:財務省貿易統計)

(イ)貿易額

年号	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
日 蘭	13,673	13,568	13,931	13,231	13,605	14,475	15,076
蘭 日	2,154	2,162	2,265	2,251	2,169	2,149	2,439

(ロ)主要品目

日 蘭 事務用機器、映像機器、科学光学機器、自動車の部分品、自動車

蘭 日 科学光学機器、有機化合物、植物性原材料(球根等)、

自動車の部品、原動機

(2)日蘭直接投資(2004年、ジェトロ貿易投資白書)

日 蘭 7,764億円(EU加盟国中第1位)

蘭 日 3,164億円(EU加盟国中第1位)

3.文化関係

日蘭文化協定(1981年7月17日発効)

2000年は日蘭交流400周年記念の年に当たり、蘭においては雅楽、能公演、「17～18世紀の日本美術展」天皇陛下御物展等が開催。

日本においてはコンサートヘボウ交響楽団公演、レンブラント、ゴッホ、フェルメール絵画展、王室コレクション等の開催の他、各種記念シンポジウム、スポーツ交流等の実施。

日本で記念切手を発行。

日蘭双方において、約700の行事を実施。

4.在留邦人 7,150人(2006年10月、外務省統計)

5.在日オランダ人数 1,039人(2002年12月、法務省統計)

6.要人往来

(1)往訪(1985年以降)

年月	要人名
1985年	福田元総理
1987年	唐沢郵政相
1988年	竹下総理
1989年	青木環境庁長官、礼宮殿下、志賀環境庁長官
1990年	礼宮殿下、中曽根元総理
1991年	海部総理、中山外相
1997年	紀宮殿下、橋本総理、池田外相
1998年	参議院公式議員団
2000年	天皇皇后両陛下(国賓、5月) 川口環境庁長官(COP6、11月)
2001年	秋篠宮同妃両殿下(5月) 川口環境大臣(6月)
2002年	皇太子殿下(1～2月) 秋篠宮同妃両殿下(10月)(故クラウス王妃殿下御葬儀)
2004年	石破防衛庁長官(1月) 秋篠宮同妃両殿下(3月)(故ユリアナ前女王陛下御葬儀)
2005年	小泉総理(5月)
2006年	皇太子同妃両殿下及び愛子内親王殿下(8月、御旅行・御滞在)

(2)来訪(1987年以降)

年月	要人名
1987年	マルグリート王女、ファン・ローイ外国貿易相
1988年	ファン・ローイ外国貿易相、ウィレムアレキサンダー皇太子殿下、 ブリンクマン文化相
1989年	ファン・デン・ブルック外相(大喪の礼)、 ファン・フォルスト国相、ドルマン下院議長、マルグリート王女殿下、 デ・コルテ副首相兼経済相、スミット・クルーズ運輸相(日蘭380周年記念)、 ブクマン外国貿易相
1990年	ベルンハルト王妃殿下、ブラックス農水相、アルダース環境相、 ウィレムアレキサンダー皇太子殿下(即位の礼)
1991年	メイ・ヴェッヘン運輸相、ファン・ローイ外国貿易相、アルダース環境相、 ベアトリックス女王陛下(国賓)、ウィレムアレキサンダー皇太子殿下、 ファン・デン・ブルック外相
1992年	コンスタンティン王子殿下、ファン・ローイ外国貿易相、ブロンク開発協力相

(2)来訪(1987年以降)

年月	要人名
1993年	コック副首相兼蔵相
1995年	リッツェン教育相、トンメル住宅・環境相、ファン・ドック外国貿易相
1996年	コック首相、ファン・ミールロー外相
1997年	ヴェイエルス経済相、ヨリツマ運輸相、デ・ブール環境相
1998年	ウィレム・アレキサンダー皇太子殿下(長野五輪)、ヘルフケンス開発協力相(TICAD II)
1999年	ファン・ニューヴェンホーフェン下院議長ほか(衆議院議長招待)
2000年	コック首相、ファン・アールツェン外相(以上2月)、コルトハルス・アルテス上院議員一行(参議院議長招待)(3月)、ウィレム・アレキサンダー皇太子殿下、ヨリツマ副首相兼経済相、ファン・アールツェン外相(以上4月)、ブロンク環境相(9月)、ネーテレンボス運輸相(10月)、プリंकホルスト農業相、イベマ外国貿易相(以上11月)
2002年	ヘルフケンス開発協力相(1月)、ブロンク環境相(5月)

(2) 来訪(1987年以降)

年月	要人名
2003年	ウィレム・アレキサンダー皇太子殿下(3月)(世界水フォーラム)
2004年	プリंकホルスト経済相(2月) カンブ国防相(11月)
2005年	ボット外相(4月) ウィレム・アレキサンダー皇太子同妃両殿下(4月) プリंकホルスト副首相兼経済相(10月)
2006年	ザルム副首相兼財務大臣(5月) ホーヘルフォルスト健康保健スポーツ大臣(6月) ヴァイン経済大臣(10月)
2007年	ペイス運輸・公共事業・水利大臣(1月) ウィレム・アレキサンダー皇太子殿下(3月)

7. 二国間条約・取極

通商航海条約(1912年)、
航空協定(1953年)、
査証取極(1956年)、
通商協定(1960年)、
租税条約(1970年)、
文化協定(1981年)、
科学技術協定(1996年)

8. 外交使節

- (1) オランダ駐劔日本国大使 渋谷實特命全権大使(2007年9月着任)
(2) 本邦駐劔オランダ大使 アルフォンス・C・M・ハーメル特命全権大使(2005年8月着任)

シガレットメーカー

Agto Sigarenfabrieken N.V.	
Alvana B.V.	BAT
Balmoral Cigars	
Biggelaar Tabak B.V.	
British American Tobacco, Smoking Tobacco and Cigars (Export) B.V. (Netherlands) B.A.T.	
CCO Cigarette Company Ootmarsum B.V.	
G. DeGraaff & Sons	
Henri Wintermans Cigars B.V.	
Heupink & Bloemen Tabak, B.V.	Heupink & Bloemen Tabak GmbH
Imperial Tobacco RYO	Imperial Tobacco
Johannes Nieboer Tobacco Company	
JT International B.V.	Japan Tobacco
Philip Morris Holland B.V.	Philip Morris
Reemtsma Nederland B.V.	Reemtsma
Ritmeester Cigars	Burger Soehne AG
Royal Theodorus Niemeyer B.V.	B.A.T.
Sir William Pipe Tobacco	
Swedish Match Cigars B.V.	
Vantas Tabaksfabrikaten	
Agio Cigars, a division of Agio Sigarenfabrieken NV	
Balmoral Cigars, a division of Agio Sigarenfabrieken NV	
Biggelaar Tabak BV	
British American Tobacco The Netherlands BV	B.A.T.
De Heeren van Ruysdael BV	Swedish Match Cigars BV
De Huifkar Cigars, a division of Agio Sigarenfabrieken NV	
Fa J van Horssen	
G De Graaff & Zn	
Henri Wintermans Cigars BV	ST Cigar Group
Heupink & Bloemen Tabak BV	
Hoogebooms Sigarenfabriek BV	
Imperial Tobacco	
Justus van Maurik Sigarenfabrieken BV	Swedish Match Cigars BV
La Paz Sigarenfabrieken BV	Swedish Match Cigars BV
Oud Kampen BV	Burger Sohne AG
Panther Cigars, a division of Agio Sigarenfabrieken NV	
PGC Hajenius	Oud Kampen BV
Philip Morris Holland BV	Philip Morris
Ritmeester Cigars	Burger Sohne AG, Switzerland
Sigarenfabriek De Olifant	
Sir William Pipe Tobacco	
ST Cigar Group Holding BV	Henri Wintermans Cigars
Swedish Match Continental Europe Swedish Match Cigars BV	Arnold Andre GmbH & Co KG,
Theodorus Niemeyer BV	B.A.T.
Tobacco Specialties International	
Vantas Tabaksfabrikaten (Cigars)	
VCT BV	
Willem II Sigarenfabrieken BV	Swedish Match Cigars BV